

潘^{パン} 崗^グ 回顧展

平成29年

6月14日(水) — 6月25日(日)



◆主催: 茨城県日中友好協会・潘崗回顧展委員会
◆後援: 茨城県・外務省・駐日本中国大使館文化部・茨城県教育委員会・公益財団法人茨城県国際交流協会
北茨城市・一般社団法人茨城県建設業協会・NHK水戸放送局・茨城新聞社・読売新聞水戸支局
朝日新聞水戸総局・毎日新聞水戸支局・株式会社水戸京成百貨店・株式会社ギャラリーいわぎ

◆会場: 茨城県天心記念五浦美術館 展示室B・C
◆開館時間: 午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)
◆休館日: 6月19日(月曜日)
◆入場料: 無料
◆問い合わせ先: 茨城県日中友好協会 ☎029-224-1169





潘 崑

本名 潘皋齡

1922年遼寧省蓋州生まれ

2015年遼寧省瀋陽市没

画家、舞台美術家

中国舞台藝術学会顧問

中国舞台美術学会副会長

中国文化芸術特別貢献賞

1940年中国北平国立藝術専門学校（現中国中央美術学院）に入学、1944年重慶国立藝術（現中国美術学院）油絵学科卒。先生は潘天寿、衛天霖（東京美術学校卒、黒田清輝研究室で研修）など日本に留学された方が多数。

冀察熱遼魯迅芸術学院美術教員、東北文化工芸団美術教員、東北人民藝術劇院舞台美術製作室主任、遼寧人民藝術劇院藝術委員会副主任兼遼寧舞台美術工場工場長、遼寧戯曲家協会副主席、遼寧舞台美術協会会長を歴任。



人生は絵、絵は人生



作家は少年時代、中国画の技法を伝授され、青年時代は日本に留学した先生たちから西洋画の美学理念と技巧を学んだ。生涯、東洋と西洋の美術技法の結合と革新に力を注ぐ。画仙紙に重彩プロピリンに（岩彩、水彩、油彩を混ぜ）で描く技法を創成し、美術の新天地を開拓した。

作家は常に寛容な目で乱世を眺め、博愛を求め、紛争が連綿と続く時代であっても、依然として美学の真髄を追究した。作品は隠喩の形で景色に思いが取り入れられ、平和への憧れが隅々から溢れて、作家の一生を表現するものとなった。

作品の表現形式と精神は日本美術界に大きな足跡を残した岡倉天心先生はじめ、その弟子達の精神と期せずして一致し、人々を慨嘆させます。

今回の展示会では、作家の人生を探り、絵画手法の変遷を紹介しながら、生き生きとした情景が溶け合った、味わい深い作品を展示します。ぜひご高覧ください。

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083

会場までの
アクセス

